

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【公開番号】特開2017-176542(P2017-176542A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-69689(P2016-69689)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月15日(2019.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技が可能な遊技機であって、

遊技媒体が通過することによって価値が付与される所定領域と、

遊技の進行を制御する制御基板と、

前記制御基板に設けられ、遊技媒体の所定領域への通過によって付与された価値に関する複数種類の情報を表示可能な情報表示手段と、

前記制御基板を収容し、透光性を有する基板ケースと、

前記基板ケースにおける前記情報表示手段の視認性を妨げない位置に設けられ、前記遊技機の種類を特定可能な情報を付されたシールと、

を備え、

前記情報表示手段は、複数種類の情報を所定期間ごとに切り替え表示可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

遊技機において、価値の付与に関する情報を適切に表示する必要がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記実情を鑑みてなされたものであり、価値の付与に関する情報を適切に表示することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段Aの遊技機は、遊技が可能な遊技機であって、
遊技媒体（例えば、遊技球）が通過することによって価値が付与される所定領域（例えば、第1始動口、第2始動入賞口、又は大入賞口）と、

遊技の進行を制御する制御基板（例えば、主基板）と、

前記制御基板に設けられ、遊技媒体の所定領域への通過によって付与された価値に関する複数種類の情報（例えば、役連、役比、及び累計の役連、役比）を表示可能な情報表示手段（例えば、表示モニタ）と、

前記制御基板を収容し、透光性を有する基板ケースと、

前記基板ケースにおける前記情報表示手段の視認性を妨げない位置に設けられ、前記遊技機の種類を特定可能な情報が付されたシール（例えば、主基板の種類、機種、スペックなどを表示するためのシール）と、

を備え、

前記情報表示手段は、複数種類の情報を所定期間ごとに切り替え表示可能であることを特徴とする遊技機。

本願の他の遊技機である手段1の遊技機は、

遊技媒体（遊技球）が進入可能な始動入賞領域（第1始動入賞口、第2始動入賞口）と一般入賞領域（第1～第4一般入賞口50A～50D）を有する遊技機（パチンコ遊技機1）であって、

前記始動入賞領域（第1始動入賞口、第2始動入賞口）に遊技媒体が進入した場合に可変表示（第1特図の可変表示、第2特図の可変表示、飾り図柄の可変表示）を実行する可変表示手段（第1特別図柄表示装置4A、第2特別図柄表示装置4B、画像表示装置5）と、

前記一般入賞領域に遊技媒体が進入した場合に特定価値（賞球、点数）を付与する付与手段（遊技制御用マイクロコンピュータ100）と、

前記一般入賞領域に遊技媒体が進入した後の特定期間（一般入賞から1分間、2分間、又は5分間）において所定条件（第1始動入賞口又は第2始動入賞口への有効始動入賞、リーチ状態の成立）が成立した場合に、特定演出（特定演出F（先読み予告演出）、特定演出G（変動結果予告演出））を実行する演出実行手段（演出制御用CPU120）と、を備える

ことを特徴とする遊技機（第47演出形態～第49演出形態のパチンコ遊技機1）である。

これによれば、一般入賞領域に遊技媒体が進入した後の特定期間において所定条件が成立するか否かに興味を持たせることができ、一般入賞領域に遊技媒体が進入してから特定演出が実行されるまでの興味を高めることができる。